

日本共産党 八尾市会議員団

ニュース

八尾市議団
HP



八尾市本町1-1-1
八尾市役所内
Tel 991-3881(2796-2797)
2025年11月号 NO.342

12月議会が開会されます。
本会議の開会は11月28日
(金)です。ぜひ、議会の傍聴
にお越し下さい。

くらしに希望を 12月議会はじまる

八尾市議会の12月定例会が11月28日から開催されます。市民の暮らしと生活を守る共産党議員団は議会でその先頭に立つて、12月議会でも奮闘します。また市民から提出されている請願の実現に向け質問します。

教育施設で 株式会社が事業活動! !?

八尾市議会では11月14日に開催された各派代表者会議で桂小学校体育館の貸し付けについて報告されました。桂小体育館は教育委員会所有のまま、株式会社に5年間貸し付けるというものです。桂小体育館は教育施設です。利潤を上げることを目的とする株式会社に教育施設を貸し付けることがふさわしいのか。市民の声を幅広く聞くことが求められます。市は利用当事者である子どもたちやPTAなどから声や要望を聞いていません。

また小学校の給食調理場整備工事も市内11の小学校で実現します。整備工事の対象は、用和小・久宝寺小・竜華小・竹渕小・曙川小・永畠小・西山本小・高美南小・高安西小・曙川東小・上之島小です。

おち妙子議員の 個人質問

2013年～15年、安倍政権

は生活保護基準を最大10%という史上最大の引き下げをしました。「いのちのとりで裁判」として全国的な運動が起こり、今年6月には最高裁は国の生活保護基準の大幅引き下げを「違法」と断じました。さらに事実上引き下げ前まで遡つての保護費の支給を命じました。

生活保護基準は、生活保護のみならず、就学援助や国保料など、暮らしのあらゆる減免の基準です。八尾市において、具体的なこの間の被害状況を明らかにし補償を求めていきます。



11月28日(金) 10時半から
おち妙子 個人質問



11月28日(金) 15時から
田中ゆうこ 個人質問



いとう学園視察のおち議員
(右)と田中議員(左)

助の更なる充実を求めます。
学校図書室の司書の必要性と身分保障を求めます。
インフルエンザ・新型コロナワクチンの無料対象者(65歳以上で世帯全員が非課税)への無料の周知と手続きの簡素化を求めます。

定こども園での施設内虐待について新たな事実が確認されましたが、その内容が再び明らかにされていません。施設内虐待のガイドラインのあり方や相談窓口の拡充について質問します。

田中ゆうこ議員の 個人質問

現在八尾市の家庭ごみ収集の3分の1が民間委託になっています。この民間委託を受けている業者が外国人不法就労助長の疑いで書類送検され、この会社に外国人など労働者を出向させていた会社の代表らが出入国管理法違反で8月に逮捕されました。民間委託業者の雇用のあり方から民間委託の矛盾を明らかにしたいと思います。

八尾市の特別支援教育において支援学校(府立八尾支援学校)の位置付けを確認をし、支援学校と地域の学校との転校のあり方や居住地交流など質問します。また、八尾支援学校の現状についても取り上げたいと思います。

●請願

- ・小学校・中学校で国の定数基準を超える学級の解消を求める請願
- ・子どものための予算を大幅に増やし、保育・学童保育の施策の抜本的改善を求める請願

●意見書(今回は会派として提案したのは日本共産党のみ)

- ・「日本政府に核兵器禁止条約の参加・調印・批准を求める意見書」/原水爆禁止八尾協議会以下の意見書は日本共産党市会議員団
- ・「医療費削減の撤回を求める意見書」
- ・「拙速な衆議院比例定数削減をしないことを求める意見書」
- ・「備蓄米機能の正常化と米の増産に向けた政策転換をお求める意見書」
- ・「企業団体献金全面禁止を求める意見書」
- ・「最低賃金の引き上げ及び中小企業支援拡充を求める意見書」

八尾市議会では長年の市民からの要望が審議されます。ひとつは南西部消防署の新築工事についてです。新しい消防署は太田地域に建設が予定されています。新築工事は太田の要望が審議されます。ひとつは南西部消防署の新築工事についてです。新しい消防署は太田

長年の市民要望 実現へ!

八尾市議会では長年の市民からの要望が審議されます。ひとつは南西部消防署の新築工事についてです。新しい消防署は太田地域に建設が予定されています。新築工事は太田の要望が審議されます。ひとつは南西部消防署の新築工事についてです。新しい消防署は太田

加齢性難聴者への補聴器補助の適用を求めていきます。昨年度から八尾市においてもスタートした「犯罪被害者等への支援条例」をDV被害者への適用を求めます。

※本会議は10階議場で、委員会は8階第1委員会室ですべて10時から開会されます。

※文教常任委員会(12/9)で請願2件が審議されます。

議会日程

11月28日(金)
本会議(質疑・個人質問)
12月1日(月)
本会議(個人質問)
12月8日(月)
建設産業常任委員会
12月9日(火)
文教常任委員会
12月10日(水)
健康福祉環境常任委員会
12月11日(木)
総務常任委員会
12月16日(金)
予算決算全体会
12月19日(金)
最終本会議



斎場：納骨堂や食事のできる和室など見学。炉裏も見学させていただき、人生の最後を締めくくる厳かな場の公的責任の重要性を実感。右は納骨堂。



事件後、組織体質や風土の根本的な改革など、現場での努力状況を確認させていただきました。しかし一方で、前市長や

斎場：納骨堂や食事のできる和室など見学。炉裏も見学させていただき、人生の最後を締めくくる厳かな場の公的責任の重要性を実感。右は納骨堂。



桂・安中の老人福祉センター：全市民ができる無料のお風呂や講座を見学。大人気でした。巡回バスなど求めています。(写真は桂老人福祉センター)

八尾市議会 令和6年度の決算審査 9月議会後半

衛生庁舎・斎場の改善状況、桂・安中の3館合築など

現地を確認 公的責任を求めました

日本共産党議員団

八尾市 令和6年度

一般会計に不認定

令和6年度予算の決算では、八尾市の公的責任、暮らしを守る、平和の問題、そして政治とカネの点から審査を行いました。今回の決算審査にあたって、共産党議員団は現場を見ることを何よりも重視をし、15の公共施設(※)を視察しました。

15の公共施設を視察



衛生処理場前にて

衛生庁舎・斎場
昨年、環境部環境施設課職員の大量逮捕・懲戒免職の事件が起きました。現在の職場状況はどうか、現地（衛生庁舎・斎場）を視察しました。

事件後、組織体質や風土の根本的な改革など、現場での努力状況を確認させていただきました。しかし一方で、前市長や

当時の副市長と一部職員の関係についての調査は未だ行われておらず、不十分であること、斎場の全面民間委託の実施の撤回の立場から不認定だと判断しました。

また、これら業務の重要性について改めて実感するとともに、2度と市民を裏切らないよう強く求めました。



桂・安中の青少年会館：青少年が無料で利用できる貴重な施設です。周知徹底と利用者の拡大を求める。(写真は桂青少年会館)

同時に同和地区がまだあるという見解の撤回と人権条例の廃止を求めていました。

館での職員配置や無料の位置づけは、全市事業として拡充すべきです。そして、人権コミセソについては現状を改めるよう主張し、3館合築の計画撤回を求めていました。



ピカピカに磨いたバキュームカーに驚きました。改めて業務に対する公的責任の大切さを実感。

八尾の歴史・文化に責任を負う施設
指定管理施設である、文化会館や総合体育館などの赤字については、人件費高騰分を指定管理料として直ちに協議し増額するように求めました。文化の拠点や八尾の歴史に責任を負う施設は、非公募か直営であるべき立場から歴史民俗資料館は直営へ、しようと園やプリズムホールは非公募にするよう求めました。

市民病院は公立病院としての使命を
市立病院は、国の医療政策のもと赤字が出ています。全国の自治体病院では86%が経常収支が赤字（24年度）です。とくに感染症指定医療機関、災害拠点病院、救急救命センター、集中治療室のある病院などでは9割以上が赤字です。

「不採算であつても住民のいのちと健康を守るために必要なものはやる」——公立病院としての使命を果たすためには八尾市としても全力を尽くすよう求め認定としました。

水道事業は、4月から大阪広域水道企業団へと移行し、八尾市議会最後の決算審査になりました。広域化に反対の立場から不認定としました。

比べ約3億円が増加しました。またごみ収集事業については、細報告を求め、民間委託の再公営化を求めました。

不法就労で許可業者が検査を受けていることについての詳細報告を求め、民間委託の再公営化を求めました。

暮らしや市長の政治資金パーティー、平和の問題など合わせ、一般会計は不認定としました。

た。とりわけ自衛隊八尾駐屯地の拡張や八尾飛行場の規制撤廃に反対の立場を主張しました。広域化に反対の立場から不認定としました。

※ いとう学園、いとうとく園、かがやき、歴史民俗資料館、しぶき、すみれなど調査させていただき、施設の充実を求めていきます。